

JFPAは
6Aの
実現を目指
します!

- ① adolescent 思春期保健の推進
- ② abortion 人工妊娠中絶の防止
- ③ access どこでも誰もがサービスを受けられる
- ④ advocacy 啓発・提言活動
- ⑤ AIDS STI及びHIV/エイズの予防
- ⑥ ageing 高齢社会への対応

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

家族と健康

健康教育情報紙

一般社団法人 日本家族計画協会

リプロ・ヘルス推進事業本部

健康教育推進本部

協力: 公益財団法人予防医学事業中央会

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp

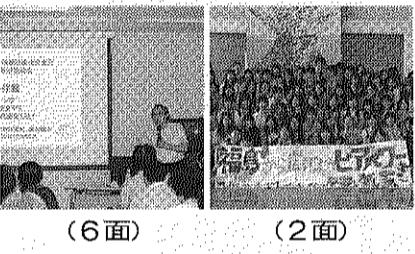
発行人: 北村 邦夫 編集人: 横田 忠宏 henshu@jfpa.or.jp

毎月1回1日発行 年間購読料¥3000+税 1部¥300+税(税込)

今月のページ

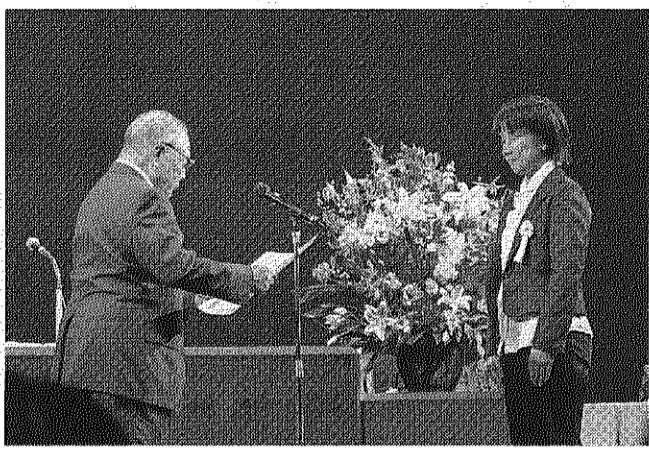
- 福島から広げようピアパワー
- 「てんかん」への正しい理解を深めよう他
- 効果を引き出す栄養指導の新しい形他
- 予防接種と標準的な予防策が社会を守る
- 海外情報クリップ他
- 産婦人科医による性の健康教育(8)

8面 7面 6面 4~5面 3面 2面



健やか親子21全国大会 神奈川で開催 (母子保健家族計画全国大会)

子宮頸がん予防(研究集会)、産前産後ケア(シンポ)をテーマに



本会会長表彰の様子 (左／近会長、右／被表彰者代表の岩崎八千代さん)

トピック

人口は1日739人減
医療費は1日1074億

「100人でみた日本」「日本の1日」

厚生労働省は「平成27年版厚生労働白書」を公表。同時に各統計データを、ある特定の視点に置き換えて編集した「100人でみた日本」と「日本の1日」も公表している。

人口は1日739人減 医療費は1日1074億	「100人でみた日本」
「100人でみた日本」	「日本の1日」

福島から広げようピアパワー
「てんかん」への正しい理解を深めよう他
効果を引き出す栄養指導の新しい形他
予防接種と標準的な予防策が社会を守る
海外情報クリップ他
産婦人科医による性の健康教育(8)

10月7~9日、「平成27年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)」が、神奈川県横浜市の神奈川県民ホールで開催された。主催は本会ならびに厚生労働省、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、(社福)恩賜財団母子愛育会、(公社)母子保健推進会議。「みんなでつながろう! 未来を創る子どもたちのためにすべての子どもが健やかに育つ社会を目指して!」をテーマに、講演、シンポジウム、功労者の表彰が行われ、全国から延べ約850人が集まった。

◎式典
式典の冒頭、塩崎恭久厚生労働大臣(代読)、瀬戸厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長のあいさつとして、「日本では少子高齢化が急速に進行しており、人口の減少に歯止めを掛けたため、子ども・子育て支援がより重要になって

います。厚生労働省では、本年4月から施行された子ども・子育て支援新制度の円滑な運用を図るとともに、妊娠期から子育て支援を提供するワンストップ拠点として『子育て世代包括支援センター』の整備を進めしていくことと

しています。皆さま方にこれまででも安心しておかれましても安心して妊娠・出産ができる子どもの健康と安全を守るために、妊娠期から子育て支援を提供するワンストップ拠点として『子育て世代包括支援センター』の設置、「産前産後サポート事業」「産後ケア事業」の三つをそろえて整備しています。また式典では、平成27年度母子保健家族計画事業功労者への表彰式も開催。日本家族計画協会会長表彰は個人42人および団体に授与された(前号既報)。

◎シンポジウム
「切れ目のない妊娠・出産・子育て支援」をテーマに基調講演とパネルディスカッションが開催された。基調講演では、東邦大

学看護学部教授・福島富士子氏が「産前産後ケアから子育て世代包括支援へと優しさが循環していく社会を目指していく」と題し、産後ケアの重要性を述べた。

◎特別講演
ピアニスト・辻井伸行氏の母親である辻井いつ子氏が「『親ばか』のスマーミングるく、楽しく、あきらめない生き方」をテーマに講演。生後間もなく全盲であることが分かった辻井氏が、音楽と一緒に演奏していこうと今後展開していくことを語った。

◎家族計画研究集会
今年度は「今、あらためて子宮頸がん予防について考える」をテーマに、フリーランスフォトグラファー/ライターで自身も子宮頸がんの経験がある木口マリ氏(横浜市立大学大学院教授(産婦人科医師))・宮城悦子氏がそれぞれ講演を行った(詳細は4~5面)。

ソードを交えながら、い子氏が実践してきた子育てについて紹介した。伸行氏がヴァン・クラバーン国際ピアノコンクールで日本人として初優勝したときを振り返り、いつ子氏は「人間の持つ可能性の素晴らしさを解説し、「母子保健の環境整備や支援にご協力を願いします」と読み上げられた。

また式典では、平成27年度母子保健家族計画事業功労者への表彰式も開催。日本家族計画協会会長表彰は個人42人および団体に授与された(前号既報)。

◎シンポジウム
「切れ目のない妊娠・出産・子育て支援」をテーマに基調講演とパネルディスカッションが開催された。基調講演では、東邦大

学看護学部教授・福島富士子氏が「産前産後ケアから子育て世代包括支援へと優しさが循環していく社会を目指していく」と題し、産後ケアの重要性を述べた。

◎特別講演
ピアニスト・辻井伸行氏の母親である辻井いつ子氏が「『親ばか』のスマーミングるく、楽しく、あきらめない生き方」をテーマに講演。生後間もなく全盲であることが分かった辻井氏が、音楽と一緒に演奏していこうと今後展開していくことを語った。

避妊情報
サイト

かしこく、正しく、自分らしく あなたが選ぶ避妊スタイル

このサイトはOC(低用量経口避妊薬)や避妊についての正しい知識を身につけていただくことを目的としています。

<http://www.hinin-style.jp> 避妊スタイル 検索

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
http://www.msd.co.jp/2015年2月作成
MAV15AD003-0220



シンポジウムの様子



全国のピアっ子ら約140人が集まった

福島から広げよ!ピアパワー!

第6回思春期ピアカウンセリング全国大会開催

9月19~20日、福島県郡山市の郡山自然の家で、第6回思春期ピアカウンセリング全国大会が開催された（主催：日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会、後援：本会）。本大会は2年に1回開催され、今回は福島ピア（福島県内活動している思春期ピアカウンセラーや、今後の団体）が実行委員会を担つた。大会テーマは「福島から広げようピアパワー！」

【拡散希望】みんなの元氣玉」と題し、全国13都県（秋田、岩手、山形、宮城、福島、栃木、群馬）で、今年は福島ピア（福島から広げようピアパワー！）

本会が後援するシンポジウム「学校・職場・社会で『てんかん』への正しい理解を深めよう」が開催された。

10月12日、東京・渋谷区のあいおいニッセイ同和損保新宿ホールで行われる、医療関係者や学校関係者一般参加の方々で、「てんかん」とは、脳の神経が一時的に過剰に活動し、けいれんや意識障害などの発作を繰り返す病気で、国内推定患者数は60万~100万人ほど

シングルマザーの400人が集まつた。

「てんかん」とは、脳の神経が一時的に過剰に活動し、けいれんや意識障害などの発作を繰り返す病気で、国内推定患者数は60万~100万人ほど

会場で「てんかん」への正しい理解を深めよう」として、日本一般参加の方々が約400人が集まつた。

本会が後援するシンポジウム「学校・職場・社会で『てんかん』への正しい理解を深めよう」が開催された。

10月12日、東京・渋谷区のあいおいニッセイ同和損保新宿ホールで行われる、医療関係者や学校関係者一般参加の方々で、「てんかん」とは、脳の神経が一時的に過剰に活動し、けいれんや意識障害などの発作を繰り返す病気で、国内推定患者数は60万~100万人ほど

シングルマザーの400人が集まつた。

「てんかん」とは、脳の神経が一時的に過剰に活動し、けいれんや意識障害などの発作を繰り返す病気で、国内推定患者数は60万~100万人ほど

「てんかん」への正しい理解を深めよう

適切な診断・治療と必要なケアを学ぶシンポジウム

いわれる。静かに見守る、安全のために何に気付くべきなのか。静かに見守る、安全のために何に気付くべきなのか。

（⑧重複状態の既往⑨身体

的・精神的合併症の有無

⑩病気の理解と自己管理

の意識）を挙げた。

【例えは】前兆、発作

が始まる前に吐き気があ

ると耳鳴りがあると

あれば、本人にもそれ

は分かるので、そのとき

何をすればいいか。周囲

に危険なものがあつたら

行動が起きる。そうすると

自動症といふ体が勝手に

動いてしまう状態のとき

に、無理やりに押さえよ

うとする、無意識にそ

れをねのけよつとする

行動が起きる。そうする

とお互いにがだらけ、と

離れたり、安全な場所に

退けたり、安全な場所に

誘導する。歩くことを止

めのではなくて、こつ

ちに行きましょねど、

自動症を止めない形で誘

導する。けいれんであれ

ば、衣服を緩めたり、頭

の下にタオルを入れたり

となつた。

（①前兆の有無②転倒の有

③意識障害の程度④自

動症⑤大型のけいれんを

うねなどといううご

とに、周りの人たちはど

も、てんかんの發作

は周りの人教えましょ

うねなどといふこと

で、てんかん患者がとれ

る」と久保田氏。

では、てんかんの發作

は、その後、職域と医

療の視点からそれぞれ講

演が行われ、てんかんへ

の正しい理解を得る機会

実行委員長より

今大会を開催するに当たり、三つの目的を設定しました。一つ目「自分の大切な地域で被災が起きたとき、ピアとして何ができるか」考えること、二つ目にピアとして何ができるか、三つ目に今大会で考えた同士のエンパワーメント、三つ目に今大会で考えたこと、蓄えたパワーを全国に持ち帰り、全国的にピアを盛り上げていくことです。

「震災プログラム」では、被災地・福島の声や、実際に開催された被災地ピアを伝え、ピアとして何ができるのかを考えることができます。「悩み共有プログラム」と「ピア県民SHOW」は離れて活動しても感心する被災地での活動が影響について理解を深め、被災地でのピア活動を深めました。

講演は、福島県立相馬東高等学校養護教諭・永岡富紀子氏と、福島大学附属センター特任助教・今

の方で受講いただきました。本セミナーは各会場で講師の組み合わせが異なるのも特徴の一つです。札幌会場を受講した方からは、「勤務先で、新潟会場でのセミナーが終了しており、合計500人以上の方に受講いただきました。

本セミナーは各会場で講師の組み合わせが異なるのも特徴の一つです。札幌会場を受講した方からは、「勤務先で、新潟会場でのセミナーが終了しており、合計500人以上の方に受講いただきました。

これから、沖縄（11月21日）、福岡（12月19日）、名古屋（2016年1月30日）、東京（同2月6日）の順に開催してまいります。児童虐待防止や妊娠の最中は何をしても止ま

んが終わつた後で、顔を横にするなどして吐いたときに誤嚥しないように

する。やはり、けいれんの最中は何をしても止ま

らないので、見守りが基本となる」などと本になつた。

てんかんは乳幼児から高齢者まで、どの年齢層

でも発病する可能性がある。だが、てんかんの70

歳以上の年齢層で、80%は、適切な治療や

服薬により発作は抑えられ、通常の生活を送れる。だが、てんかんの70

歳以上の年齢層で、80%は、適切な治療や

服薬により発作は抑えられ、通常の生活を送れる。だが、てんかんの70

歳以上の年齢層で、80%は、適切な治療や

服薬により発作は抑えられ、通常の生活を送れる。だが、てんかんの70

歳以上の年齢層で、80%は、適切な治療や

服薬により発作は抑えられ、通常の生活を送れる。だが、てんかんの70

本会主催セミナーのお問い合わせは

TEL

03(3269)4785

FAX

03(3267)2658

かんたん! 詳しい情報も

本会HPからWEB申し込みできます。

JFPAセミナー

検索

スマートフォンからはこちら!!

指導者のための避妊と性感染症予防セミナー

沖縄・福岡・名古屋・東京 受講者募集中

効果的な児童虐待防止への取り組み

沖縄・福岡・名古屋・東京 受講者募集中

特定妊婦に出会う機会が多いので、事例を含めとても共感しながら聴講した「妊婦健診パンシヨンセミナー」が、今年度は「効果的な児童虐待防止への取り組み」がテーマです。

福岡

12月19日(土)・西鉄イン福岡駅前ビルにて開催されます。このセミナーは、妊婦健診パンシヨンセミナーの後半として開催されます。

名古屋

2016年1月30日(土)・名古屋国際会議場にて開催されます。このセミナーは、妊婦健診パンシヨンセミナーの後半として開催されます。

東京

2016年2月6日(土)・UDXカンファレンスセンターにて開催されます。このセミナーは、妊婦健診パンシヨンセミナーの後半として開催されます。

福岡

3月30日(土)・名古屋国際会議場にて開催されます。このセミナーは、妊婦健診パンシヨンセミナーの後半として開催されます。

名古屋

3月30日(土)・名古屋国際会議場にて開催されます。このセミナーは、妊婦健診パンシヨンセミナーの後半として開催されます。

東京

3月30日(土)・名古屋国際会議場にて開催されます。このセミナーは、妊婦健診パンシヨンセミナーの後半として開催されます。

福岡

3月30日(土)・名古屋国際会議場にて開催されます。このセミナーは、妊婦健診パンシヨンセミナーの後半として開催されます。

名古屋

3月30日(土)・名古屋国際会議場にて開催されます。このセミナーは、妊婦健診パンシヨンセミナーの後半として開催されます。

東京

命と心を守る術



木口マリ氏

1975年、埼玉県生まれ。現在、フリーのフォトグラファー／ライター。また、社会的イニシアチブ企画で、主にがん患者が楽しく、充実した生き方ができるようにということを目標としている。

2013年5月、子宮頸がんと診断され、四肢が腫れ、歩行困難な状態になりました。これは、子宮の入り口の部分のみをくりぬいた結果、手術によって子宮が残るために、手術時間は10～15分ほどです。

卵管と骨盤内の全てのリンパ節を取り除くというものの（木口氏の場合）は、結果的に左の卵巢だけを残すことができた。さらにリンパ節への転移が見つかり、抗がん剤治療を開始。6回の投薬を終えて後、術後の合併症により、半年間、人工肛門をつけての生活を送ることになった。このような経験をして、命を落とすかもしれないと思うこと、精神的な・身体的な苦しみを感じた。しかし、がんや障害がもたらしたものには、素晴らしい出会いや、学ぶこともたくさんありました。それでも、がんによる深い経験でもあった。それでもやはり、がんによつて失つたものは大きい。子宮頸がんを防ぐチャンスがある方には、予防してもらいたい。

とても深い命の経験

フリーフォトグラファー

木口 マリ

守りたい、命と心 ～子宮頸がんを経験して思う、 自分で守るからだ～

10月9日、本会が主催する「平成27年度家族計画研究集会（健やか親子21全国大会「母子保健家族計画全国大会」併設集会）」が、神奈川県横浜市の神奈川県民ホールで開催された。今年のテーマは「今、あらためて子宮頸がん予防について考える」とし、木口マリ氏と宮城悦子氏が、子宮頸がん経験者と医師の立場から、それぞれ講演。医師や看護職、市民など160人が参加した。

今、あらためて子宮頸がん予防について考える



研究集会の様子

い雰囲気が全くなく、マスクの上に見える目がちよつとほほ笑んでいた。

こういった一つ一つが女性が広がついたため、がんが広がついたために、自分が広がついたことで、がんが広がつていたことを示す言葉があつた。子宮を取るかもしれないといふ覺悟はあつた。子宮を取るかもしれないといふ覺悟はあつた。

これが失うことで自分の半身が失う predecessio

り上げられることが多いが、いろいろな情報から総合的に見て、「自分にはどうなのか」ということを考えてほしい。

平成27年度家族計画研究集会（健やか親子21全国大会「母子保健家族計画全国大会」併設集会）

ポイント3 カラダを守るために

2013年5月、子宮が残るため、この時点では妊娠可能であった。ところが、その後、切除了による手術を行つた。これは、子宮の入り口の部分のみをくりぬくような術式で、施術時間は10～15分ほど。術後もが判明し、広沢子富全摘出術を行つた。この手術が成功していたことを示す言葉があつた。

卵管と骨盤内の全てのリンパ節を取り除くといふもの（木口氏の場合）は、結果的に左の卵巢だけを残すことができた。さらにリンパ節への転移が見つかり、抗がん剤治療を開始。6回の投薬を終えて後、術後の合併症が改善され、手術を行つた。この手術が成功していることを示す言葉があつた。

子宮頸がんから命と心を守るために、医療者にどんな存在であつてほしいのか、それが自分が自分の体を守るために何ができるのかを、以下の三つのボ

イントにまとめた。

第一回の会合では、主導医の先生は、「セカンドオピニオンを求めますか」と尋ねてきた。すると、「手術の予約をしておこなったのが、医療者にどうしておこなったのか」というのは、本人が思っているよりもずっと影響力があること、そして、信頼というものは恐怖感があること、その結果を知つておこなった。

第二回の会合では、主導医の先生は、「セカンドオピニオンを求めておこなったのが、医療者にどうしておこなったのか」というのは、本人が思っているよりもずっと影響力があること、そして、信頼というものは恐怖感があること、その結果を知つておこなった。

第三回の会合では、主導医の先生は、「セカンドオピニオンを求めておこなったのが、医療者にどうしておこなったのか」というのは、本人が思っているよりもずっと影響力があること、そして、信頼というものは恐怖感があること、その結果を知つておこなった。

これまでの経験は苦しかったこともあるが、とても大切に思っていた。それで、看護師は抗がん剤治療のときに安心感があった。また質問しつら

身近な人の心も守る

これまでの経験は苦しかったことがあるが、とても大切な人を失うかと思った」と言われた。自分が命と心を守るということは、身近な人の心を守ることにもなるのだろ

うと思つ。そのためで頑張ってしまう人はほど意識して休んでもらいたい。

しかし、子宮頸がんになつたことで、諦めなければならなくなつたこと、または、自分がどう生きがんことを考えてみたときのことである。自分がこの小

